



▲スタートの合図でおみやげひろいに駆け出す子どもたち

11月15日、なかよし保育園と山田養護学校で、ちびっこひろばが開催されました。

これは、国際児童年である昭和53年に始まり、伝承遊びや、保育士・保護者により構成されるぜんまい座の太鼓や演劇を通して、親子の交流や親睦を図るイベントです。

午前の部では、プチごまやブンブンごまなどの昔遊び道具やお面作りなど、親子で触れ合いながらいろいろな工作を楽しんでいました。



▲子どもたちの歌声が響く

午後の部ではぜんまい座の公演が行われ、歌や劇で大いに盛り上がりました。また、公演の中で、やなせたかし先生が香美市の子どものために作った『香美市こどもの歌』が披露されました。

龍河洞を探検！ 日本洞窟学会高知大会

11月1日、龍河洞で日本洞窟学会高知大会が開催されました。

これは、日本洞窟学会の主催で、毎年全国の洞窟を会場に行われているもので、高知県での開催は、平成3年以来24年ぶりになります。

当日は、36人の小中学生と保護者が参加し、洞窟の成り立ちやその中に生息する生物を学習しながら、洞内の探検コースを巡りました。専門の講師から、不思議な生き物や洞窟の神秘、鉱物などの説明を聞き、貴重な体験となりました。



▲ヘッドライトの明かりを頼りに探検！

スポーツ推進員感謝状

11月12日、全国スポーツ推進委員連合30年勤続スポーツ推進委員として、田中恵美さん（美良布）に感謝状が贈呈されました。田中さんは、昭和59年に香北町体育指導委員に選任されてから現在まで、30年以上にわたり地域スポーツの普及、振興に尽力されています。



現在は高知県スポーツ推進委員連絡協議会副会长としても活躍され、香美市だけでなく、高知県のスポーツ推進委員として、社会体育の推進、指導体制の確立等に大きく貢献されました。

マーチングで火の用心

11月11日、香美市消防署庁舎前で、土佐山田幼稚園の園児がマーチングを行い、火災予防を呼びかけました。これは、秋季全国火災予防運動の一環で行われたものです。園児たちの元気いっぱいのかわいらしい演奏に周りの大人たちも目を細めていました。火災の発生しやすい季節です。火の取り扱いには十分注意してください。



▲優勝した土佐山田チーム（左から吉本さん・谷相さん・前田さん）

10月5日から11月2日にかけて、第10回香美市ナイターペタンクリーグが香北総合型競技施設で開催されました。

今年も10チームが大会に参加し、和気あいあいと話しながらも、熱戦を繰り広げました。

優勝＝土佐山田
準優勝＝ポケット 第3位＝白三会

香美市のフラフを世界に発信

10月1日から3日にかけて、山田高校の文化祭平成27年度清笑祭が開催され、市民の皆さんから寄贈していただいたフラフのお披露目が行われました。

これは、香美市の伝統工芸であるフラフを世界に広げ、地域を活性化したいという思いのもと、山田高校商業科での商品開発等の授業を通して、フラフのリメイク商品等の開発を行うためのものです。

フラフの提供を市民の皆さんに呼びかけたところ、たくさんのフラフが集まりました。今後は、各種イベントでクロスやのれん等として使用したり、海外向け商品を開発しPRしていく計画だということです。

生徒らは「皆さんの思いが詰まったフラフを大切にに使わせていただきます」と感謝の言葉を述べ、フラフの活用に向けて決意を新たにしていました。



▲校舎にはためくフラフ

ヘルスメイトと郷土料理に挑戦

11月4日、プラザ八王子で、子育て世代の方を対象にした郷土料理教室が開催されました。これは、若い世代に地域ならではの食材や料理法を知ってもらおうと、香美市と香美市食生活改善推進協議会（ヘルスメイト）の共催により行われたものです。

メニューは田舎ずし、やっこねぎのマヨネーズ和え、チャーテのぬた、そば蒸しようかんでした。参加者からは「思っていたより手軽に作れておいしい」「このような教室があればまた参加してみたい」などの感想が聞かれ、郷土料理を実際に作ってみるよい機会になったようです。



▲こんにゃくやリュウキュウを使った田舎ずし作り

森で遊ぼう！キッズフェス

11月15日、土佐山田町大平の森林総合センターで、森林総合センター祭キッズフェスが開催されました。

当日は、森で働く機械に試乗したり、ロープを使った木登り『ツリーイング』を体験したりと、子どもたちが木や森に触れ合ういろいろなイベントが催されました。また、各種団体による模擬店も開かれ、多くの人出でにぎわいました。

会場には、竹を組んで作ったジャングルジムのような大きな遊具も設置され、体を目いっぱい使いながら遊ぶ子どもたちの歓声が響いていました。



▲大きな竹の遊具におおはしゃぎ！